

第1学年 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

和歌山県立古佐田丘中学校
寺阪 多江

1 単元名 「世界に誇る私たちの宝物～世界遺産を守り伝えよう～」

2 単元の目標

- 「世界遺産」の種類や登録条件などについて理解し、身近にある世界遺産が数百年前の時を経て現代まで受け継がれていることを知る。 (知識・理解)
- 身近にある世界遺産がどのようにうけつがれてきたのかを考え、探究活動を行う中で調べたこと、理解したことを発表する。 (思考・判断・表現)
- 後世に伝えていく意識を持ち、活動できる態度をもつ。 (主体的に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本校は、平成18年に和歌山県立橋本高等学校の併設型中高一貫校の中学校として創設された学校で、橋本市内を一望できる古佐田ヶ丘に位置している。隣接する公園には古墳があり、市内には歴史を体感できる建造物などが点在する。橋本市は世界遺産に登録されている高野山麓としてのその歴史を刻んでいるが、それらの歴史的価値に意識をむける生徒は少ないのが現状である。

本単元では、私たちの学ぶ地域が歴史的価値に恵まれた地域であること、それらが現存するのは後世に伝えようとする人々の努力があったことを理解し、後世に伝えていく役割が自分たちにあることを学ぶ教材として、地域の素材を活用したい。また、この地域に今日まで受け継がれてきた文化的景観の背景には、山岳信仰（修験道）・神道・仏教の融合があることに生徒たちが気づき、「平和」を希求する精神が千年以上も受け継がれてきたこと、今後受け継いでいくことの大切さを発見する教材にもしていきたい。

(2) 生徒観

本校は、各学年約40名の生徒が在籍し、和歌山北部の広域から通学している。共通の「ふるさと」として身近にある世界遺産を学び、ふるさとへの誇りを持つことで、生徒一人ひとりのアイデンティティの重要な要素として将来につながる学習を展開したい。

(3) 指導観

この単元の指導の際には、過去の在校生（先輩達）の学びを提示し、興味を引き出したい。身近にあるが、これまではそれほどの価値をみいだせていなかったかもしれない「世界遺産」

や、郷土の歴史への知識を深め、探究活動をする中で、主体的に学び行動できる生徒を育成したい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

【相互性】3 県にまたがる文化的景観としての「世界遺産」に気づくことで、相互に補いあいながら文化が形成されたことを理解する。

【公平性】神道と仏教の融合や山岳信仰（修験道）との関連を理解し、融和の精神が息づく地域としての世界遺産登録であることを知り、「平和」を持続できる地球市民の精神を育てる。

・SDG s との関連

目標 1 1 : 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
① 世界遺産の種類や登録条件などについて理解している。	① 調べたいことの取材を通して、体験や知識などの材料を集め、目的を考えて整理している ② 伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えている。	① 身近な世界遺産を後世に残そうとする意識をもち、具体的・主体的な活動を行おうとしている。

5 単元計画 (全 14 時間)

次	主な学習活動	学習への支援	評価・備考
1 年 1	○橋本市の歴史クイズ (学校所在地の歴史への興味関心を高める。) ○ユネスコスクール及び SDG s について知る。	・プレゼンテーション資料を使って教師が説明 ・SDG s の目標を教師が提示し、次回で相互発表を行うことを確認し、担当を決める。	知識理解
1 年 2	○SDG s の相互学習 (生徒発表) ○世界遺産学習を進めて行くことを理解する	・1 7 の目標を提示 ・世界遺産学習の説明 (1 7 の目標のうち、1 1 に関連する学習であることを確認する。)	主体的

1年3	<p>○和歌山県にある世界遺産を調べ、学校所在地の世界遺産を知る。</p> <p>○「黒河道」・「定福寺」の歴史を知り、「定福寺」にお願いの手紙を書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「紀伊山地の霊場と参詣道」についての補足説明 ・地域の世界遺産についての補足説明 	主体的
1年4	<p>○「定福寺」でお話を聞き、なぜ世界遺産に登録されたのかを考える。(可能であれば「定福寺」を訪問)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の世界遺産が登録された経緯を理解するための支援 	思考判断表現
2年1	<p>○1年時で学習した「世界遺産学習」を思い出す。</p> <p>○「世界遺産」登録条件を調べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年時で学習した時の写真などを提示 	知識理解
2年2	<p>○「紀伊山地の霊場と参詣道」がなぜ「世界遺産」に登録されたのかを調べ、後世に伝える活動をしている人たちの存在を知る。お話を聞きたい人を探し、手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高野山の中門が再建されたこと、世界遺産マスターさんの活動、「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成要素(自社仏閣や自然景観)があることを伝える写真。 	思考判断表現
2年3	<p>○世界遺産マスターさんのお話を聞く。道普請の活動など保全活動に関わる人々、地域の伝統を守る人々(地域の祭、和紙や酒造りなど伝統を伝えている人々)を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞いて、なぜこの地域が世界遺産に登録されているのか後世に伝える意義を理解し、活動に関わる人々の思いを知る。 	知識理解
2年4	<p>○実際にお話を聞いてみたい人や訪れてみたい場所を見つけ、電話や手紙で連絡し、お話を聞いたり訪問したりする。(または、道普請の活動に参加するなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、地域の歴史を後世に伝える意義を感じる。 	主体的
2年5	<p>○自分たちの活動の様子・世界遺産マスターさんやお話を聞いた人々のことなどを、プレゼンテーション資料にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトの使い方・発表内容の構成を考えるヒントを伝える。 	思考判断表現
2年6 ～8	<p>○プレゼンテーションの仕上げ・練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の理解を想像したプレゼンテーションとなっているかについてのヒント 	主体的

2年9	○1年生へのプレゼンテーション (可能であれば、近隣小学校でのプレゼンテーション)	・聴衆を意識した効果的なプレゼンテーションのヒント	主体的
2年 10	振り返り	・2年間を通して学んだことを振り返る。	主体的